競技審判上の注意

（1）本大会は、令和7年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、公認審判員規程及び同大会運営規程により行います。

（2）審判は1月10日（予選リーグ）及び11日（決勝・下位トーナメント）にて以下の通りとします。

1月10日（土）（予選リーグ）

・初回戦のみ大会本部にて指定（審判1名、得点係1名）します。それ以降は試合の敗者が次の試合の審判、勝者が得点係となります。線審は毎試合ごとに各チームから1名出して下さい。

・沖縄県以外の参加チームで線審の手配が難しいチームは、大会当日の朝本部席までお知らせ下さい。本部にて線審の手配を行います。

1月11日（日）

・初回戦より本部にて依頼した方が審判を行います。選手は招集所に呼ばれた際、線審を1名連れてきてください。

・審判は補助員が行います。

・沖縄県以外の参加チームで、線審の手配が難しいチームは大会当日の朝に本部席までお知らせ下さい。本部にて線審の手配を行います。

（3）全ての試合は流し込み方式（試合番号順に空いたコートに入る）で行います。館内のコールにご注意下さい。

（4）全ての試合（予選リーグ、決勝・下位トーナメント）について、得点を以下の通りとします。

① 予選リーグ（1 月10日）

・4年生以下～6年生以下→15点 3 ゲームマッチ（延長なし）

・2年生以下→15点3ゲームマッチ（延長なし）

② 決勝・下位トーナメント（1 月11日）

・4年生以下～6年生以下→21点 3 ゲームマッチ（延長30点まで）

・2年生以下→15点3ゲームマッチ（最大21点まで）

（5）大会当日は選手招集所を設置します。招集係のアナウンスの指示に従い、速やかに選手招集所にお集まり下さい。

（6）試合が連続する場合は、原則として試合終了から15分後に次の試合を開始します。招集係の指示に従い、該当する選手は選手招集所にすみやかに集合してください。

（7）バックバウンダリーライン後方にコーチ席 2 席を設けます。コーチ席に入ることができるのは、コーチ登録した監督・コーチのみとなります。

（8）コールされたら指定のコートに速やかに移動し、審判は選手が揃ったらすぐに試合を開始して下さい。

（9）コート入場後の公式練習はありません。

（10）各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。

①各ゲームにおいて一方のサイドが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。

②第1ゲームと第2ゲームの間、第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。第 3 ゲームでのチェンジエンドズの際のインターバルは60秒となります。選手は20秒前にはコートに入ってください。

③15点ゲームについては、各ゲームにおいて一方のサイドが8点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に60秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。

(11)インターバル中でのアドバイスは、同時に2人までコートに入ってもよいが、審判が「20秒」とコールしたらすみやかにコートから離れてください。

(12)試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等プレーを中断する場合は、必ず審判の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。

① ドリンク容器は、倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、審判横の指定した場所に置いて下さい。

② 氷嚢は、コーチ席で小型の保冷バッグ(ソフトバック)等に入れ、保管してください。

(13)審判が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。

(14)シャトルの交換については審判が決定しますので、指示に従ってください。

(15)試合中のけがや病気に対しては、審判が判断します。審判が必要に応じて競技役員長(レフェリー)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。

(16)**審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。**もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手に限ります。

試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートのそばに立っていてはいけません。また、監督・コーチが他のコートに移動する際は、必ずインプレーでないときに行ってください(振り向かせてまでのアドバイスは行わないで下さい)

(17)競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るかマナーモードにしてください。

(18)試合中にモバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。

(19)試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央にゼッケンを付けてください。ゼッケンは縦 25 ㎝以内、横 30 ㎝以内とし、チーム名及び個人名(フルネーム)を明記してください。なお、文字の大きさは高さ 6 ㎝から 10 ㎝を厳守とし、ユニフォームの広告(ロゴ)については、令和 3 年 12 月 26 日付の日小連文書のとおりとします。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れてください。ゲーム中に出た場合は、ラリー終了後に再度入れ直してください。

(20)監督・コーチは所定の名札(ID カード)を着用の上、服装は公認審判員規程第23条及び第24条を厳守して下さい

(21)その他は、代表者会議における打合せ事項のとおりとします。